




論文審査結果の要旨

論文提出者	府 川 晃 久
論文審査委員	主 査 山 崎 純 
	副 査 梅 津 桂 子 
	副 査 日 高 真 純 
論 文 題 目	Reactive oxygen species stimulates epithelial mesenchymal transition in normal human epidermal keratinocytes via TGF- β secretion
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本論文は、活性酸素種 (ROS) である H_2O_2 がヒト正常上皮角化細胞株 NHEK 細胞の上皮間葉移行 (EMT) を促進し、その機序が NHEK 細胞からの TGF-β の産生・分泌を介することを明らかにした。TGF-β が ROS の産生を促進するなどはこれまでに報告されていたが、正常上皮株がオートクライン・パラクライン的な TGF-β の分泌を介して EMT 誘導を起こすという報告は新しい知見であった。論文審査においては、主査並びに 2 名の副査が提出論文を精査し、試問によって研究方法、結果の確認を行なった。論文提出者は、研究の背景と目的を明示し、RT-PCR、Western blotting、ELISA 定量、免疫細胞染色といった種々の手法を用いながら結果を明瞭に表し、それに対応した考察を適切に示した。</p> <p>公開発表会では質問の多くに適切に回答した。また、不十分な箇所についてはその後 2 回にわたって開かれた非公開審査で十分な回答が得られた。得られた結果・考察に基づく癌診断などへの方向性は今後の臨床研究への展開を予期させるものであり、更なる研究へと大いに展開できる意義のある研究業績を示したと思われる。</p> <p>以上、予備審査ならびに本審査にて詳細な審査を行なった結果、博士 (歯学) の学位申請論文として価値有る業績と認めたので審査結果を合格とした。</p>	